

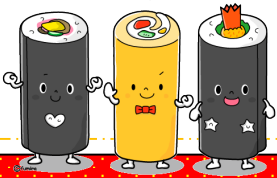


2月3日は節分です。節分は、季節の分かれ目の意味で、元々は、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」のそれぞれ前日を指していましたが、特に、立春の前日を指すようになったのは、冬から春になる時期を一年の境として、今の大晦日と同じように考えられていたからだそうです。



「豆まき」の行事は疫病などをもたらす悪い鬼を追い払う儀式で、中国から伝わり、約1300年前の飛鳥時代より行われているそうです。近年、コンビニなどでキャンペーンされるようになった「恵方巻き」は、節分の夜に、その年の恵方に向かって、無言で、商売繁盛や無病息災などの願い事を思い描きながら太巻きを丸かじりする風習で、元々は、大阪船場のあたりで行われていたそうです。

七福神にちなんで7種類の具を巻き込むことから、福を巻き込むという意味と、縁を切らないという意味が込められています。昔から今に伝わる伝統行事を大事にして行きたいものですね。



新年の抱負

今年も、全社員による「新年の抱負」の書初めを行いました。新年会の席で、各自が作品を披露し、今年一年の抱負を発表しました。新年の抱負を元に、皆さまに良い仕事をご提供できるよう頑張ります。



今年もよろしくお願いたします!

私たちは同じことを、100回聞かれても笑顔でお答えします。

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 (代) Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA 機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

今月の社長のつぶやき

昨年12月に致知出版社主催の「徳望を磨く」人間学塾で、80歳で世界最高峰エベレストに登頂された三浦雄一郎さんのお話を聞く機会がありました。

三浦雄一郎さんは65歳の時に70歳でのエベレスト登頂を目指しトレーニングを重ね登頂に成功されました。この時に不整脈と心房細動を発症され2度手術を重ね、2008年75歳で2度目の登頂に成功されたのでした。そして、80歳の時に家族の猛反対を押して3度目のエベレスト登頂をされました。

65歳と言えば定年の歳ですが、この時エベレストという大きな目標を持ってチャレンジされたことを思うと私も何かチャレンジする目標を持たなくてはと強く思っています。

三浦雄一郎さんは著書に「三浦雄一郎が贈る人生の後半生を輝かせるための八か条」として次の項目を掲げておられます。

1. 自分自身のエベレストを持つ——— 生きる目標を見つける
2. 攻めの気持ち、チャレンジ精神が日々を充実させる
3. 人生はいつも今から——— 今をいかに充実させて生きるかを考える
4. 「年だからダメ」と言っていると本当にダメになる
5. 何が起こっても前向きに捉える
6. できない理由を考えるのではなく、できることをやる
7. どんなときも可能性を信じて前進する
8. 夢を持ち、夢の実現のために全力を尽くす



せっかく学んだのですから、この八か条を心に強く刻んでこれからの人生を歩んでいこうと思っています。(参考図書 65歳から始める健康法 致知出版社発行 三浦雄一郎著)

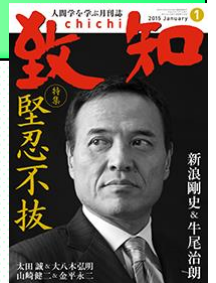
代表取締役社長 岡崎純二

タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

「堅忍不拔」 E・M

ある青年が1,300mの不毛の高地にドングリヤブナの実を植え続けて、小川がせせらぎ小鳥が集う森を作り上げたという記事を読んで、まず思ったのは、一人で、しかも、不毛の地に生命の種を植え付け始めたこと、なぜ、又不毛の地を選んだのだろうということです。あえて苦労する所を選ぶ程自分を追い込み、なんて意志の強い人だろうと思いました。

この青年の様に何本育つか分からないのにずっと植え続けていく精神、でもそれが少しずつですが、木になり、林をつくり上げた。一人で孤独と戦って、凄い精神の持ち主だと思います。自分の人生を全うすることが出来る人が一人でも多くいれば、日本は大きくかわるのではないのでしょうか？まずは、素晴らしい生き方をした人たちに思いをめぐらし、私自身も人生を全う出来る様にしたいと思いました。



兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『ツクためには』

みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。

今回で8回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。

船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。今回は、「ツキの原理」という考え方をご紹介します。「ツキの原理」というのは、『ツイてる』『ツイてない』ということです。

さて今回は、「ツクためには」ということをお伝えしたいと思います。

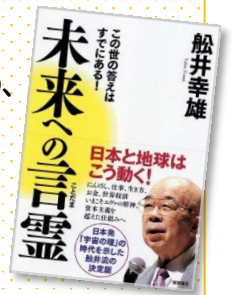
ツキや運というのは、サイコロを振るようなランダムなものではなく、自分自身の行動と習慣によって生まれます。当社の創業者の船井幸雄は、ツクためには以下のような習慣を身につけることが大切だと言っています。

- ①「世のため人のためになること」をして、「ならないこと」をしない。
- ②自主、自由、自己責任で生きる。
- ③効率よく、調和しながら、生成発展するため、単純化、万能化、自由化、開放化、協調化、調和、長所活用化、共生を心がける。
- ④金銭欲、物欲、我執欲などを必要最低限にする。
- ⑤良心に従う。
- ⑥感謝の心を持つ（1日20回以上、ありがとうございます、と言う）。

※参照：『未来への言霊（徳間書店）』一船井幸雄著

良い習慣を身につけることで、周りの人に良い影響を及ぼし、起こった出来事をプラスに解釈できるようになるからこそ、会社や人として成長につながるのですね。

お互い、常に意識してツキを味方にした生き方を心がけていきたいですね。



SAからのお勧め情報



タイピック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。
今月は、OA事業部の杉内がお届けします。



フー-きもち!!!



無類のネコ好きの私が
個人的に感じたネコのさわる喜ぶ箇所の
ベスト3を発表します。

第3位は「腰」特にしっぽのつけねをモミモミ
すると腰くだけになるかも!

第2位は「耳」耳の後ろをモミモミ! ニヤニヤ
至福の表情が見れるかも!?

第1位は「口まわり」口へまわりを軽くなぞ
あげるとヨダレをたらすかも! ます!

一掃的によくさわる「アゴ」や「オチカ」は
それぞれ好きキライがあるので要注意です!



ゆっくりやさしいパソコン教室の「ほっと」なお話

益田教室 清水壮一

88歳のOさんは、第2次世界大戦で中国で戦死した従弟の「従軍手帳」に書かれた日記を毎日少しずつ入力されています。読ませていただくと、従軍中の生活の大変さがリアルにわかり、戦争の非人間性をあらためて知らされました。現代でもまだ戦争に関わった方々が存在しておられることを思うと、戦争が遠い過去のこととは思えません。すっかり様変わりした現代社会との比較で何か大切なことが見えてくるように思います。

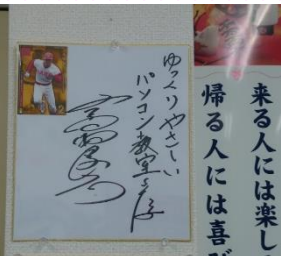


浜田教室 西田寿喜

教室で流れている BGM は、ほとんどが生徒さんが持ち込まれました CD なのですが、「日替わりでクラシックが流れたり、カーペンターズが流れたり楽しいね。」と、たくさんの生徒さんから好評をいただいています。先日も、「セットで買ったんだけど家で聞くことがないので教室で使ってください。」とのお申し出を受けました。さっそく BGM に流させていただきました。生徒さんのご厚意で増える CD のライブラリー。ささやかな音楽を変更するという気配りで、喜んでいただけるのは嬉しいですし、生徒さんのご厚意に感謝しています。

萩教室 坂根彩夏

萩教室に来られている M さん（80 代女性）は、受講日には必ず素敵なお花を持って来て下さいます。休憩時には皆さんで「この花の名前は〇〇」と教え合い、横に置いてあるメダカと一緒に眺めて癒されています。教室の生徒さんは皆さん、お花や編み物、俳句など素敵な趣味をお持ちです。趣味の話をする時はとても楽しそうに聞いているこちらもし楽しい気持ちになります。私も一つでも趣味を見つけ、素敵な大人の女性になりたいと思います。



廿日市教室 今田直美

広島といえば、カープです。先日、「黒田博樹 8年ぶり広島復帰へ」というニュースが流れた日、教室に入ってきた生徒さんの第一声は「黒田が帰ってくるねえ〜」でした。（*^^）その日は一日、カープの話でもちきり！休憩コーナーではカープの話で大盛り上がりでした。教室には高橋慶彦さんのサインが飾ってあります。カープファンの熱い思いの生徒さんと、明るく元気に毎日、楽しい時間を共有させていただいています。

宇治教室 中山貴志

宇治教室の最高年齢87歳となる神山敬三郎さん。教室には雨の日も自転車に乗って来られ、パソコンの他に、グラウンドゴルフ、そして最近ピアノも習われ、発表会に向け練習されているとのこと。その年齢を感じさせないバイタリィ溢れる行動力に60代70代の他の生徒さん誰もが敵わないといったご様子で驚きの声をあげられます。



「目標は東京オリンピックまで生きること。」とご本人は笑ってらっしゃいます。いくつになってもチャレンジする気持ちが若さの秘訣であり、日々の輝きに繋がっているのだと感じます。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします